

## 機関誌「地下水技術」投稿案内

### <投稿のご案内>

本誌は、地下水に関する正しい知識の普及と技術の発展・向上を主たる目的の1つとする（社）地下水技術協会の機関誌として発刊されています。機関誌編集委員会では、本協会の特性を活かした紙面づくりに今後も努力する所存ですが、会員諸氏におかれましても、研究成果、活動結果、あるいはノウハウの集積結果をぜひとも本誌紙面上にご報告、ご披露していただき、魅力ある紙面づくりにご助力いただきたく、お願い申し上げます。

投稿原稿の内容は、地下水に関する論文、報文、資料、意見・提言および体験談、随想とし、原則として本誌に掲載される以前に同一内容が他の出版物に発表されていないものとします。

投稿ご希望の方は、電話またはメール等で事務局までご連絡ください。なお、投稿に当っては、次にご案内する別**執筆要領**により、**版下作成要領**を参考にして原稿を作成してくださるよう、お願い申し上げます。

---

### <執筆要領>

1. 題名は著者に一任します。
2. 原稿送付期日：とくに指定しませんが、版下作成に約2週間、印刷に約3週間かかりますので、送付いただいてから最速で1ヶ月後の印刷発行となります。
3. 送付いただいた原稿をもとに、事務局が別記「版下作成要領」をもとに、版下をA4版で作成します。さらに機関誌の印刷に当っては、版下からB5版に（86%）縮小印刷します。
4. 執筆者のお名前に、「ふりがな」、また差し支えない範囲で、所属、肩書き等の著者紹介をお願いします。
5. 版下作成、校正刷り送付等のために、お手数ですが、連絡先住所、電話番号、ファクシミリ番号、メールアドレスをお知らせください。連名、組織名で投稿された場合は、執筆代表者を定めてその連絡先等をお知らせください。
6. 原稿はモノクロを基本にしますが、図および写真でこれによりがたい場合は、協会事務局にお問い合わせください。
7. 原稿提出の際には、電子データとともに、プリンタによる出力結果も同時に提出してください。また、図表及び写真についても紙ベースの原本も提出してください。
8. 図、表はできるだけ電子ファイルでお願いしますが、プリンタによる出力結果も同時に送付してください。とくに、カラー印刷の図面は、モノクロに変換する場合に濃淡の識別が困難になる場合がありますので、記号あるいは地紋を多用するようお願いいたします。
9. 図表および写真を電子データとして電子原稿中に貼り付けるのが困難な場合には、本文中に必要なスペースを確保した上で、貼り付け要領をご指示くださるよう、ご協力をお願いします。
10. 図、表については、掲載の大きさをご指示いただければ版下作成の参考になりますので、重ねてご協力くださるようお願いいたします。なおB5版で2段組みの場合、横幅は最大6.8cm、全幅使用の場合の横幅は約14cmとなります。



# 「地下水技術」印刷用版下作成要領

## 執筆の手引きとして

地下水 太郎\*\*、地下水 花子\*

### 1. はじめに

ここでは（社）地下水技術協会の発行する機関誌「地下水技術」の印刷用版下作成要領について記述します。執筆者におかれましては、この要領を参考にして、なるべく電子データで提出いただきますようお願いいたします。

### 2. ページ設定

全体のページ設定は、10.5ポイント明朝体を基本フォントとし、表一1のとおりの設定とします。

表一1 基本ページの設定

用紙	A 4 縦
上マージン	35mm
下マージン	25mm
左マージン	20mm
右マージン	20mm
段組	2 段
文字数	22 文字/行
行数	42 文字/頁

### 3. 使用フォント

使用フォントは、表一2のとおりとします。

### 4. タイトル部分の書式

タイトル部分は1段組、46文字/行に設定して、1ページ目の先頭部分から9行分を使用します。最初の6行分のスペースに0.75ポイント枠線付きテ

キストボックスにて中央寄せで標題を記述します。規定の範囲内であれば、標題の2段記述、副題の付与等は著者の自由とします。

著者名は8行目に右寄せで注釈マーク（任意）とともに記述します。著者が複数の場合は同一行に「、」で区切って平記します。

表一2 使用フォント一覧表

項目	フォント	大きさ
標題	明朝体(太)	24.0
副題	明朝体(太)	18.0
執筆者	ゴシック体	12.0
執筆者紹介	明朝体	10.5
本文(和文)	明朝体	10.5
本文(英文)	Times	10.5
大見出し(章)	ゴシック体	11.0
中見出し(節)	ゴシック体	10.5
小見出し(項)	明朝体	10.5
項以下の見出し	明朝体	10.5
図表タイトル	ゴシック体	10.5
参考文献番号	明朝体(上付き)	10.5
参考文献(和文)	明朝体	10.0
参考文献(英文)	<i>Times italic</i>	10.0

### 5. 著者紹介部分の書式

著者紹介部分はタイトル部分と同様に1段組み、46文字/行とし、1ページ目の最終行から著者の人数分の行数を使用します。著者1名につき

\*\*ちかすい たろう・(社)地下水技術協会機関誌編集委員

\*ちかすい はなこ・(社)地下水技術協会

1 行に、注釈マーク、著者名、肩書き等の順で記述します。なお、著者名の姓と名の間には1文字分のスペースを空け、著者名と肩書きの間には「・」を付与します。

## 6. 本文の書式

### (1) 基本書式

本文は1ページ目の10行目から記述します。段組は2段組とし、文字数は22文字、段組み間の文字数は2文字分とします（基本ページの設定）。

なお、1ページ目の本文記述部分と著者紹介部分の間には、0.75ポイントの区切り線が入りません。また、最終ページは、文章の最終行が段組みの左右でほぼ同じになるようにレイアウトの調整を行います。

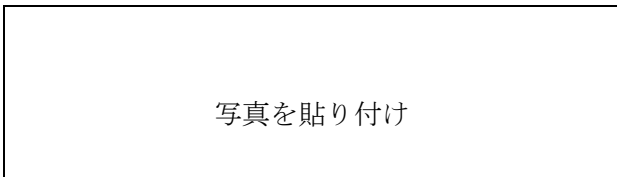
### (2) 見出しの書式

章、節および項等の見出しの番号表記は著者の自由とします。章の見出し（大見出し）についてはフォントの文字間隔を大きめに設定する場合があります。また、章および節の区切りには、1行分のスペースを空けることとします。

### (3) 図・表・写真等の書式

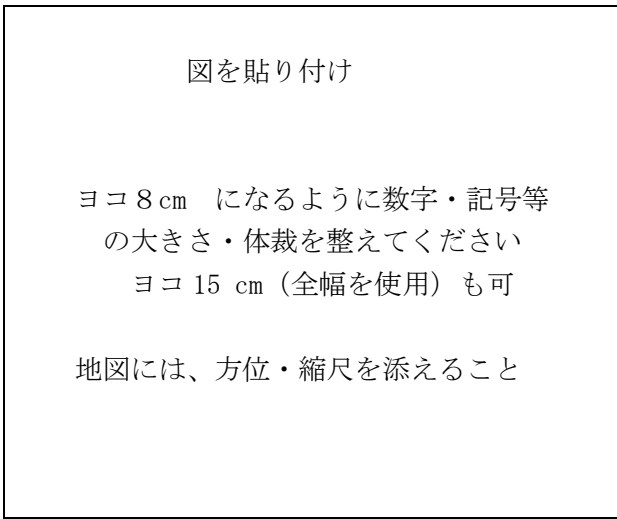
図、表、写真等は本文に沿って配置しますが、このレイアウトについて原稿に「図—1挿入」などと位置の指定があると、この指定にしたがって、参照する文章の近傍の適切と思われる位置に配置します。また、ページ幅のすべてを使用する大きな図表、写真等は、ページの上寄せ、または下寄せに配置することになります。

タイトルは、表の場合は上部に（前ページの表—1、表—2参照）、図のおよび写真の場合は次の例に示すとおり、下部に、それぞれ中央揃えにして付与します。



写真を貼り付け

写真—1 写真の貼り付け例



図を貼り付け

ヨコ8cm になるように数字・記号等の大きさ・体裁を整えてください  
ヨコ15cm（全幅を使用）も可

地図には、方位・縮尺を添えること

図—1 図の記載例

### (4) 参考文献の書式

参考文献は、文章の最後に配置します。本文中では出現順に参照番号を、上付き右片カッコ付き数字<sup>1)</sup>を付与することによって示し、引用リストでは、参照番号、著者名、表題、出典、発行年の順に記述してください。この資料の最後に、参考文献リストの記述例を示します。

## 7. その他

以上で、版下作成の際に基準となる書式とレイアウトの様式を説明しましたが、不明の点があれば下記まで問い合わせください。

〒101-0065

東京都千代田区西神田2-7-6

川合ビル35号室

社団法人 地下水技術協会 事務局

電話： 03-3556-0637

ファクシミリ：03-3556-0638

E-mail： admin@jgwater.or.jp

### 参考文献

- 1) 地下水太郎：地下水技術印刷用版下作成要領、地下水技術、

(平成21年9月29日 機関誌編集委員会確認)

## 社団法人地下水技術協会機関誌「地下水技術」投稿規程

平成23年6月27日 理事会議決

### (会員による投稿)

- 第1条 社団法人地下水技術協会会（以下、本協会という。）会員は、本協会機関誌（以下、機関誌という。）に、随時投稿することができる。
- 2 投稿原稿の内容は、地下水に関する論文、報文、資料、意見・提言および体験談並びに随想とし、原則として機関誌に掲載される以前に同一内容が他の出版物に掲載されていないものとする。
  - 3 投稿は、原則として本協会会員企業・団体等に所属する個人名（以下、投稿者という。）で行うが、著者紹介欄に所属を明示するものとする。
  - 4 投稿が連名で行われる場合は、投稿者のうち少なくとも1名が会員であればよい。

### (依頼による投稿)

- 第2条 本協会編集委員会は、必要に応じて会員以外の外部機関、企業もしくは学識経験者（以下、非会員という。）に投稿を依頼することができる。
- 2 依頼は、編集委員会の決議により、編集委員長がこれを行う。
  - 3 投稿を依頼する場合は、依頼する目的等を示した上で行わねばならない。

### (執筆要領)

- 第3条 投稿者は、別に定める執筆要領により原稿を執筆する。

### (原稿の提出)

- 第4条 原稿のデータは、Word 文書ファイル形式で本協会事務局宛提出する。

### (編集委員会による投稿原稿の処理)

- 第5条 投稿原稿の採否、掲載順序、体裁の統一は、編集委員会が行なう。
- 2 編集委員会は、投稿原稿について査読を行なって採否を判定し、字句の加除、訂正、図の修正を求めることができる。
  - 3 投稿者は、前項の訂正、修正を求められたときは、可及的速やかにこれに応じるものとする。

### (著作権の譲渡)

- 第6条 機関誌に掲載された著作物の著作権は、社団法人地下水技術協会に属するものとする。
- 2 投稿者は、受理後に別に定める著作権譲渡同意書に必要な署名をし、提出するものとする。
  - 3 投稿者が、著作物の全部ないしは一部を投稿者自身が他に利用しようとする場合は、その旨を本協会に通知し、かつその記事の出所を明示すればよい。
  - 4 第三者による本協会に著作物の転載の申し込みがあった場合は、編集委員会の審議をうけて本協会が可否を決定する。

### (投稿者による著作権の同意)

- 第7条 投稿者が著作物の内容について関係者の同意もしくは了解を要すると判断した場合（ほかの著作物から文章、図、表もしくは写真を転載する場合、特定プロジェクトに関係する場合など）は、あらかじめ投稿者の責任で処理しておくものとする。
- 2 編集委員会は、前項の処理について疑義があると認めたときは、許諾書のコピー等の提出を求めることができる。

### (印刷)

- 第8条 機関誌の印刷は、白黒印刷とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、図もしくは写真のカラー印刷が適当であると編集委員会が認めた場

合には、そのカラー印刷された図もしくは写真を含むページに掛かる印刷費用は、投稿者がその実費を負担するものとする。

(校正)

第8条 原稿の校正刷りの校正は、協会事務局が行なう。

2 著者校正は、校正刷り初校で1回限り行なう。その際、原稿の大幅な変更は認めない。

(別刷)

第9条 印刷物の別刷は50部を限度として本協会負担で作成する。50部以上の作成については、投稿者が増加分について実費を負担するものとする。

(謝礼等)

第10条 編集委員会が非会員に原稿を依頼したときは、投稿者に対して掲載号ならびに別刷50部を贈呈するとともに別に定める規程により謝礼を支払う。

2 会員が原稿を投稿したときは、投稿者(連名のときはその代表者)に対して掲載号ならびに別刷50部を贈呈する。

附則

第1条 この規程は、平成23年6月27日から施行する。(理事会の承認の日)

2 この規程の変更および廃止は、編集委員会の決議を経て、理事会の承認を受けなければならない。